

集い・学び・憩いの館 ～祝・新大崎公民館完成～

大崎
公民館

子ども達の豊かな学びの場 「大崎公民館子ども教室」



令和7年10月オープン新大崎公民館

令和7年10月、老朽化に伴う建て替えにより、新しい大崎公民館が完成オープンしました。

新公民館はコンセプトとして①安全が第1優先 木造平屋の頑丈な造りは地震や大雨にも強く、広戸風にも負けません。災害時の避難所機能も十分に備えられています。②人に優しい造り 玄関自動ドア、トイレ手洗いも感知式、館内はバリアフリー。調理室にはIH、LPガスコンロ両方を備え、地域の多世代が安全に集い、多様な学びが保証され、安心して過ごせる公民館になっています。



夏休み宿題教室

12月には三世代交流を目的に、地区の老人クラブの皆さんを講師に、毎年お飾りづくりをしています。藁をなうことが保護者も子どもも難しく、悪戦苦闘しています。お正月には、手作りのお飾りで新年を迎えます。

主に土日、長期休暇中に年間20回程度活動しています。夏休み期間中は中高生がたくさんボランティアに来てくれます。宿題教室、工作、音楽、と盛りだくさんです。

放課後児童クラブの子ども達も連携を取りながら参加しています。土日の活動では、小物づくり、カプラ遊び、自然体験等をしています。今年は、けん玉名人を目指しています。



お飾りづくり



カプラ遊び



◎毎月15日は、地域 みんなが集う

「ふらっと カフェ!!」

青空、セルフを基本に公民館玄関前付近にて、「ふらっとカフェ」を開催しています。移動式のピザ窯でピザを焼いたり、手作りの水ようかんや、ぼたもちも並ぶことがあります。「いつでも、どなたでも、ふらっとお越しください。」をキャッチコピーに、時には地域に出向いて、出張ふらっとカフェも行っています。



「ふらっと カフェ」の様子

◎地域を発信する「大崎タイムズ」

令和元年に大崎地域づくり協議会を発足し、安全安心部会、こども部会、ことぶき部会、事業部会の4部会で構成し活動しています。活動を地域の皆さんにお知らせするため、大崎タイムズを発行しています。令和2年9月創刊、年4回の発行で、現在22号まで発行されています。本会は、「子どもに夢と思い出 お年寄りに安らぎと生き甲斐を!」をスローガンに掲げています。



大崎タイムズ

◎みんなが集う大盛況の納涼祭!



大崎小学校で開催 大崎納涼祭

「この地域で生まれ育ち、巣立ったものが幼い日々を懐かしみ、里帰りする。そんな夏祭りを目指す。」をコンセプトに、今年度第5回を迎える大崎納涼祭、地域行事のひとつとして定着してきました。楽しいイベントや飲食ブース、子ども達の遊び場、そしてフィナーレは、大抽選会。番号を読み上げるたび、感嘆の大歓声が上がります。



ごんごまつりに参加 チーム「I LOVE大崎」



大崎納涼祭での「和っしょい!津山」

飛び入り大歓迎、みんなで「和っしょい!津山」を踊りました。毎年「ごんごまつり」にも幼稚園児、小中学生、大人みんなでチーム「I LOVE大崎」を組み、参加しています。盛り上がりました。

館長紹介

平成22年4月大崎公民館に着任し、今年で17年目となりました。地区のほぼ中心に位置し、赤ちゃんからお年寄りまで、さまざまな年代が集う、にぎやかな公民館です。地域行事が活発で、それに負けぬよう、今年度は色々な単発主催講座を計画しています。若い世代や、まだ公民館を利用したことのない方に、気軽に公民館に足を運んでもらえるようにと思っています。



井上 規差子 館長

地域づくりの拠点「集い・学び・憩い」の大崎公民館

新大崎公民館は地域の皆さんの地域づくりへの思いが結集され完成しました。子ども達も、大人も、高齢者も、多世代が講座やサークル、企画に集い、学んでいます。さらには、理由がなくとも「ふらっと」寄れる憩いの場所にもなっています。少子高齢化や地域の関係性の希薄化などの社会的課題を正面から解決する答えがここにありそうです。